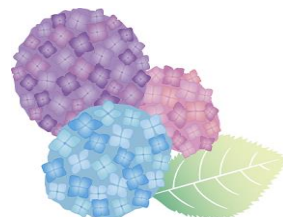




# 図書館だより



2020年6月号 NO. 367

北茨城市立図書館

茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16

TEL 0293-42-1451

今年は、3月11日から5月11日まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉館し、皆様には大変ご不便をおかけしました。また、図書館だよりも5月号を休刊といたしました。

さて、この原稿を作成している間に、5月12日からの開館が決定しました。

閲覧の制限やカフェの休止など、一部サービスを制限しての開館となり、皆様にご理解とご協力をいただきながら再開することができました。

まだまだ警戒を緩めることはできませんが、できる限り、皆様の健康面・安全面に配慮しながら、図書館運営に努めてまいります。ご来館の際には、引き続きマスクの着用をお願いいたします。

それにしても、開館時には、皆様からたくさんの励ましのお声かけをいただき、大変感謝しました。本当にありがとうございます。

ボランティアの皆さんが、心をこめて装飾をしてくださいましたので、ぜひ楽しみにして、ご来館ください。

図書館長



《 図書館カレンダー 》  印は、休館日です。

★ 開館時間 午前9時30分～午後6時 ★

★ 2020年6月 ★

★ 7月 ★



日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

## 「お知らせ」

6月は、おはなし会等の催しをすべて中止とさせていただきます。





## ◇ すぐできる！ かわいい手作りマスク ◇

一般書594ス ブティック社

## ◇ かんたん手づくりマスク かわいいマスクがいっぱい！ ◇

一般書594ア アズマ カナコ / 著 小学館

新型コロナウイルスの影響で市販の使い捨てマスクを買うことが難しくなり、マスクを手作りする方が多くなりました。そこで、布マスクの作り方の本を2冊ご紹介します。

つけると思わず笑顔になる、可愛らしいデザインのマスクがたくさんあります。( ^ )

by みーやん

## ◇ 毎日が最後の晚餐 ◇

一般書596タ 玉村 豊男 / 著 山と溪谷社

『最後の晚餐』というイタリア・ミラノにあるサンタ・デッレ・グラツィエ教会の食堂の壁画としてレオナルド・ダ・ヴィンチが描かれたものが最も有名な作品です。

イエス・キリストが十字架にかけられる前の晩、12人の弟子と共に行った食事会と、その時に起こったことを『最後の晚餐』と呼び「イエスの受難」の始まりを告げるモチーフとして描かれました。

この本の著者である玉村氏に受難が始まるとは思いませんが、玉村氏が50年間作り続けてきた数多くの料理の中から最後に残ったレシピが載っています。とにかく簡単で間違いがなく、確実においしい料理です。

うちにも一人、玉村さんがほしくなります。

by 左利き

## ◇ 冷凍できるお弁当 ミールプレップ (MEAL PREP) ◇

一般書596.4ウ 牛尾 理恵 著 朝日新聞出版

『ミールプレップ』とは、Meal(食事)+Preparation(準備)という意味で、栄養計算された献立を数食分ずつ準備しておくという方法です。お弁当文化のない海外で、筋トレで身体づくりをしている人たちが始めたそうです。この方法で食事を作り冷凍しておいて、食べる時レンジで温めます。筋トレで身体づくりをしていなくても、バランスの良い食事を作り冷凍しておけば、毎朝のお弁当作りに悩むこともなくなりそうです。一人暮らしの方の作り置きにも便利ですね。

by みーやん

## ◇ その手がおぼえてる ◇

一般書726ベ トニー・ジョンストン / 文 エイミー・ベイツ / 絵 BL出版

かあさんのもとにやって来た、小さなあかちゃんのあなた。かあさんは、その小さな手を優しくつつみこみ、ことばのないうたを口ずさんだ。そして、手あそびをしたり、手を取り合って階段をのぼったり、一緒にパンをこねたり…。やがてあなたは大人になり、かあさんの手から旅立つ日がやってきました。そして…

この本は一般書の絵本です。親子間の愛にあふれている一冊になっています。最終ページにある、訳者である落合恵子さんのメッセージも必読です♪

by オレンジ



◇「好き」の因数分解 ◇

一般書914.6サ 最果 タヒ / 著 リトルモア

中原中也賞、現代詩花椿賞の受賞歴のある詩人『最果タヒ』。彼女の48の「好き」が詰まった一冊。身近にあるモノや人が3層のテキストで語られています。独特な感性が光る言葉たちが自分の「好き」を問いかけてくるようで、私も因数分解をしたくなりました。あなたの「好き」なものは何ですか？「好き」はあなたそのもの。自分を知る一歩に、是非。

by Mo\_7

◇ 蠅の王 新訳版 ◇

一般書B933ゴ ウィリアム・ゴールディング / 著

黒原 敏行 / 訳 早川書房

未来における大戦のさなか、イギリスから疎開する飛行機が攻撃を受け、南太平洋の孤島に不時着した。生き残ったのは、6歳から12歳くらいまでの少年たちばかり。大人のいない世界で、彼らは隊長を選び、規則を作り、平和で秩序だった生活をはじめた。が、見えない「獣」の恐怖や、激しい内部対立から、しだいに、陰惨で残忍な心が、彼らの中に巣食っていく…。

とにかくすさまじい小説で、読み終えたあと、しばらく内臓が引きつっていた。1954年に発表されて以降、70年近く読み継がれてきた物語の、有無を言わせぬ威力と重みをひしひしと感じる本です。

by ミカゲ

◇ ちいさなエリオット おおきなまちで ◇

児童書Eチイ マイク・クラウト / 作

福本 友美子 / 訳 マイクロマガジン社

エリオットは、大きな町に住む、とても小さなぞう。体には水玉模様があって普通のぞうとはちょっと違う。体が小さいので生活するのにちょっと大変。でも楽しみもたくさんあり、一番はカップケーキ。ある日、カップケーキを買いに行きましたが、誰も気づいてくれなくて、買えませんでした。その帰り道、エリオットは自分よりもっと小さいねずみに会いました。ねずみは、とても困っています。エリオットとねずみ、いったいどうなるのでしょうか。

by チッピー

◇ 水滸伝 上・替天行動 下・魔星帰天 ◇

児童書923ス 渡辺 仙州 / 編訳 佐竹 美保 / 絵 偕成社

ときは、北宋皇帝徽宗の時代、朝廷の腐敗政治によって乱れた世を憂い、天下に大義をなさんと集まった豪傑たちがいた。いずれも、身に魔星を宿した好漢たちで、1ページめくるごとに、次から次へと現れる。(なんせ108人もいるのだ)

それにしても、燕青とか小旋風とか智多星とか、昔夢中になって読んだ本の登場人物たちの出典はここだったか！と、今さらながら知り、驚く。(なんの本かわかる人いるかな?) 懐かしい同級生と再会したようで、嬉しすぎる。

なんてたって、「三国演義」や「西遊記」と並ぶ中国四大奇書だもの。これだから古典はやめられない！

by ミカゲ



## ★ YABOOKご紹介 ★

### 『きみの存在を意識する』

児童書913ナ 梨屋 アリエ / 著 ポプラ社

同じ学校に通う中学2年生の生徒たち。

彼らはそれぞれ、他人には理解し難い悩みを抱えています。

本を読むことが極端に苦手で、一冊の本をなかなか読み切ることが出来ない石崎ひすい。ひすいの義弟で同い年の拓真。書字に違和感を持つ猪熊心桜(いのくま こはる)。自分は「自分」であって男にも女にも区別されたくないとする入来理幹(いりきりき)。学年トップの成績で優等生の賀川小晴(かがわ こはる)。臭いに敏感でみんなと同じ教室で授業を受けられない尾木留美名(おぎ るみな)……。

各章ごとに主人公が変わり、それぞれの立場から自分の気持ちを語る連作の短編集です。主人公たちと同じ年頃の方はもちろん、大人の方にも読んでいただきたい作品です。

by みーやん

怠けているからできないの？

あの子はわがままを言っている？

決めつけると、本当のことは見えなくなってしまう。

心の鎧(よろい)を脱いで、目をこらして、耳をすまして。

きみの存在を意識する。

## 図書館員のひと一言 ～ 新しい訳(やく)で読む名作 ～

岩波書店の『リンドグレーン・コレクション』を読みました

『長くつ下のピッピ』 『やかまし村の春夏秋冬』 『やかまし村の子どもたち』

ここにあげた本の題名を聞いたことがありますか？ 子どもの本の中では、とっても有名な物語で、スエーデンという国のリンドグレーンさんという女の人が書いた本です。主人公は、みんな子どもで、その子どもたちが、とにかくおもしろい事件をおこしていくのです。

全部紹介したいのですが、その中から最初の『長くつ下のピッピ』を手にとってみましょう。

この物語が書かれたのは、1945年、今から75年も前のことです。日本に初めて紹介されたのが、さらに20年後の1964年。岩波書店から出版された大塚勇三さんが訳されました。私も子どもの頃に読んだのは、この本です。今回紹介するシリーズの中では、2018年に、菱木晃子(ひしきあきこ)さんの新しい訳で出版されました。さっそく読んでみると、なんと読みやすいのでしょうか！それに、本の中のニイマンの絵も新鮮です。ところが、75年前にスエーデンで出版されたときは、こちらの絵だったと聞いて2度びっくり！（こっちのほうが新しく見えました。）

あとがきによると、ピッピが住んでいる家は「ごたごた荘」とよばれていますが、大塚勇三の訳をそのまま使ったとのこと…。言葉のプロが生み出した名訳は、永遠に残るのですね。

名作を新しい姿で、子どもたちのために出版してくれた岩波書店には、本当に感謝したいと思います。そして、図書館職員としてできることは、紹介をして、一人でも多くの子どもたちに手に取ってもらうことです。ブックトークの機会などで、くりかえし紹介していこうと思っています。

by ビクトリア

